DHARMA CHAKRA VIHAR

International Institute of Original Buddhist Studies and Research

Activites
- Diploma Course
- Japanese : English
- Hindi : Pali
- Classical Buddhist Chinese

Domestic Science

Founded in 1979
Free Junior & Senior High School
Free Sunday School
Free Clinic

第 12号
発行日　2007年1月1日
発行者　サールナート法輪精舎
住職　後藤恵照
法輪精舎友の会

サールナート法輪精舎

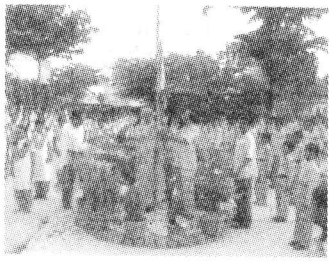
―― 日本の皆様へ ――

サールナート日本寺、法輪精舎では、1979 年より、貧しい地元の子ども達のために無料の日曜学校を開き、学用品軽食を施し、仏教や英語などを教えています。古着の配布、医療品の援助なども行っております。

また、1993 年 7 月には無料中学校を開校し、これまで寺内の校舎にて授業を行ってまいりましたが、近くの既得地に新校舎を建設しました。

1997 年からは高校も開校できました。規模は小さいながらも、仏教の平等と慈悲の心を子ども達に教えていくことを、基本理念として活動を続けております。ぜひこの主旨にご賛同され、ご支援いただけますようお願い申し上げます。

また、旅行中にご持参された文具、衣類、医薬品など不要となりましたら、ご寄付ください。なお、日本から郵便為替口座にご送金頂くこともできます。少人数の旅行者用に宿泊設備もありますので、ご利用ください



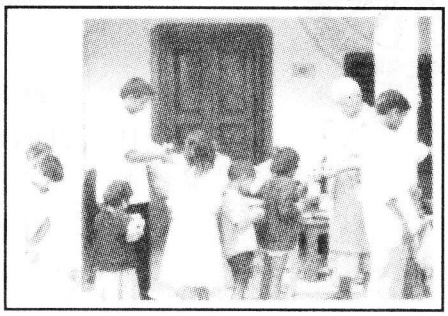
皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします　　合掌

法輪精舎住職
後藤恵照（インド名　Pragya Rashmi Bhikshu）

『日曜学校のこと』

1979年に始めた日曜学校もまもなく30年になります。初めは50人くらいの子供が来ていましたが、今では500名以上が集まり、少し勉強して、おやつを食べて帰ります。

当初の頃の子供達の中から市会議員1名、学校の先生が数名、その他種々のところで働いている人がいます。しかし、大部分は貧しい生活をしています。カーストや宗教に対する偏見をなくすよう教育していますのでみんな仲良しです。

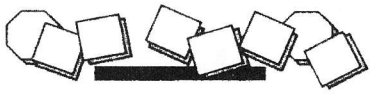


『女子裁縫技術学校』

2006年9月から女子教育のプログラムとして家庭科コースを開校しました

『国際根本仏教大学について』

諸般の事情により2006年度からの新入生受け入れを廃止しています



『2006年の在校生徒数』

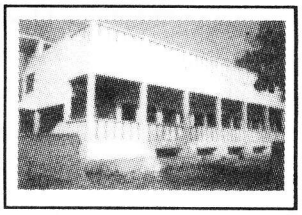
中学校	1年生	170名
	2年生	128名
	3年生	90名
高校生	1年生	145名
	2年生	111名
	3年生	20名
	4年生	20名
裁縫技術学校		約60名

勢ぞろいの先生がた

『無料中学・高校と校舎の建設について』

日本ならびに台湾など諸外国の皆様のご支援によりまして、日曜学校から発展した無料中学は・・・・・・・

◎1993年に開校しました
　初めは寺の中で授業をしていました
◎1996年　新校舎建設に着工
◎1997年5月　第二期工事まで完了
　　7月　高校を開校
◎2004年11月　生徒数増加のため校舎の増築開始
◎2006年1月　1階に3教室完成し
　2007年には2階部分も増築予定
◎お寺を改装して裁縫技術の教室に利用



『現　況』

世界的な不況もやや持ち直したとは言え、依然サールナートへの観光客が減少しており、特に寄付収入を基盤とする無料学校の経営に支障が出ております。皆様の尚いっそうのご協力ご支援をよろしくお願いいたします

{法輪精舎　月額運営費}	
1. 根本仏教学林	36.000円
2. 無料中・高校	96.000円
3. 日曜学校	18.000円
4. 医療費補助等	24.000円
5. 奨学金等	24.000円
6. 裁縫学校	7,500円
合　計	205.500円

2006年のご住職

■ご住職のパソコン事始め

ある企業様からのご寄付によりパソコンを習得された。広島支部・佐々木氏指南により着実に上達されました
2006年3月からメール交信を開始し、サールナートがすこし近くなりました。　　執務室にて

アドレス:egotodcv@hotmail.com

■住職を紹介している最近の本

平岡徳三著
「原点への回帰3　ギョロ目で見る中国・インドの旅」
2003年12月25日発行　(写真左)
書店では購入出来ませんのでご注文は下記まで
　電話:0974-22-0058　平岡徳三
友の会にてお求めの場合は事務局(P4 支援窓口)あてお振込みください(記事欄に"原点3希望"と記載)
1790円(税込み定価1500円＋開封郵送料290円)

かいはた　みち著「インド共和国がよ～くわかる本」
2006年9月1日発行　1200円＋税
発行所　秀和システム　(写真右)

■留学生派遣への取り組み　その後

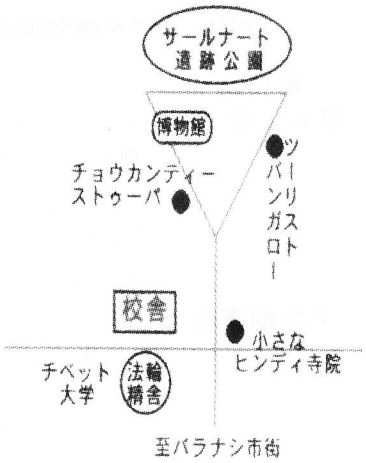
現在3名の学生が日本語ほか特別授業をうけており、成長を見守っている状況です

お　願　い

サールナート法輪精舎に直接ご送金くださる方は、郵便局から下記あて先まで、国際送金為替をご利用ください。尚、高額でお急ぎの場合のみご利用ください。インドまでの送金手数料だけでもかなりの額になりますので、その他の方は4頁に掲載の「法輪精舎友の会」宛お願いします。

衣類、学用品などは送料が嵩みますので、ガレージセールやバザーの売上金をご寄付いただけると嬉しく思います。

活動に賛同されご支援いただける「友の会」会員も募集中です。年会費は1口1,000円、5口以上の方には特別会員、大口寄付者には終身会員とさせていただきます。いずれも4ページに掲載の「支援窓口・友の会」にてお申し込み受け付けております。



【国際送金為替の送付先】
Rev. Pragya Rashmi　Bhikshu
Dharma Chakra Vihar
Mawaiya P.O.Sarnath
Varanasi U.P.221007　INDIA

【サールナート法輪精舎への連絡方法】
Tel: 91-542-2581540　日本からお寺に直通可
(「ヴァンテジー　プリーズ」と住職を指名してください)
Fax: 91-542-2586844
(最初に電話で"Fax Please"と伝えてください)
●いずれの番号についても、各国際電話会社のコード(例　001-010)を頭に付してダイヤルしてください

後藤恵照住職　略歴

昭和　8年（1933）茨城県土浦市神立に生まれる（旧姓中川政雄）
〃　26年（1951）土浦市　曹洞宗神竜寺入寺
〃　28年（1953）曹洞宗大本山総持寺安居
〃　33年（1958）駒沢大学仏教学部仏教学科卒業
昭和　37年（1962）藤沢市後藤秀恵の養子となる（改名　後藤恵照）
昭和43年（1968）小栗堂仏教研究会　創立
昭和53年（1978）渡印　ベンガル仏教会にて再得度
昭和54年（1979）サールナート法輪精舎　建立
昭和64年（1989）ベナレス・サンスクリット大学教授
平成11年（1999）国際根本仏教大学　設立
平成18年（2006）女子裁縫技術学校　開校

法輪精舎・後藤住職を紹介している書籍

本棚

里吉力男写真集「仏跡をたずねて」（春秋社）
月刊誌「大法輪」平成8年6月号（大法輪閣）
月刊誌「ぴっぱら」平成14年10月号（全国青少年教化協議会）
かいはた　みち著「インド共和国がよ～くわかる本」
平岡徳三著「原点への回帰3　ギョロ目で見る中国・インドの旅」
須貝光夫著「インド仏跡巡礼紀行」（リーベル出版）
東　隆眞（駒沢女子大学学長）著「仏陀から道元への道」（図書刊行会）

日本での支援窓口（法輪精舎友の会）

http://www.geocities.jp/i_loveindiajp/（検索サーチ「サールナート法輪精舎」）

事務局　（長野県安曇野市）　電話/Fax　0263-83-5654
安曇野支部　大塩 e-mail:i_loveindiajp@yahoo.co.jp（Webサイト管理人）
郵便振替 00920-2-41630　口座名「サールナートエンジェル友の会」
・須貝光夫様から著作本のご寄付をいただきました。500円以上お気持ちにて（定価2000円）販売させていただきます。振込み記事欄にご記入ください
・プリント済みの「払込票」を複数枚お送りできます

その他支部

長野支部　宮川（長野県中野市）　電話　0269-22-5423
URL　http://www.matikado.jp　「まちかど図書館」
・北信濃文化研究会機関紙「まちかど図書館通信」
・機関紙にサールナートからの通信と支援のお願いを、掲載しています

広島支部　佐々木（広島大学総合科学部A710内）
電話/Fax　082-424-6416
e-mail:hsasaki@hiroshima-u.ac.jp

神奈川支部　中村（神奈川県川崎市）　電話/Fax　044-813-7448
URL　http://www.h5.dion.ne.jp/~tn27「お釈迦様の四大聖地」
■サールナート法輪精舎での法要（法事）をコーディネートいたします
皆さまの墓参の時期に合わせ、後藤住職による法要です
御芳志は学校運営の基金として、全額が子供達のために使われます
お問い合わせは上記まで